



# 鵜鮎つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成29年夏号(61号)

## 岐阜ダルク理事長就任にあたって

特定非営利活動法人 岐阜ダルク  
理事長 浅井太郎



岐阜ダルクに関わる皆さま、こんにちは。盛夏の候、いかがお過ごしでしょうか。

私はこのたび、前理事長由井滋神父様の後任として新たに理事長となりました浅井太郎と申します。カトリック名古屋教区一宮教会の主任司祭をしております。

この春、4月の終わりか5月の初め頃、岐阜教会のテラー神父様から電話がありまして、昨年秋由井神父様が他界されて以来、岐阜ダルクの理事長が不在で後継者を探している、私のところにも話が来たが、もう年なので、代わりに引き受けてはもらえないだろうかという内容のお話がありました。自分にできるかどうか不安はありましたが、一生懸命回復に励む薬物依存者の方々のために奉仕させていただけるのは幸いなことだと思いましたので、名古屋教区長松浦司教様にお伺いを立てたうえで、お返事させていただくことにしました。

司教様に電話したところ、私次第だということでしたので、お引き受けすることにしました。そうしてとんとん拍子で事は運び、この6月29日(木)岐阜ダルク総会において新しい理事長として承認されました。

私自身いたらない者で十分お役に立てるかどうか自信はありませんが、皆様とともに学びながら、リハビリに励む方々を微力ながらも支えてゆければと願っております。どうぞご理解のほど宜しく願いたします。

## 中間の体験談

でいちゃん

処方薬の依存症です。教師として働いていた時代に初めて心療内科を受診して、医師から処方された抗うつ薬や精神安定剤、抗不安薬、睡眠導入剤を服用し始めました。最初は医師の処方通り服用していましたが、薬を飲むと、仕事のストレスや不安感がなくなり、夜もすぐ眠れて、それが気持ちいいと思うようになってきてしまい、薬の量も次第に増えていきました。

薬の依存度が高まるにつれ、やらなくてはいけない仕事をリストアップしても、やる気や集中力はどんどんなくなってくるので、やらなくちゃという焦りと裏腹に、全然仕事が出来なくなっていました。職場だけでなく、日常の基本的な生活もできなくなり、過食症状も出て、薬を服用し始めてから数年で体重は30kg以上も増えました。

処方薬の乱用が原因か、意識消失発作も起こすようになり、授業中に倒れて救急車で運ばれたり、堤防から車で落ちて死にかけたこともあります。それでも自分の力では薬をやめることが出来ず、仕事は退職せざるを得ませんでした。

そんな状況を心配しながらも、応援し続けてくれる両親のおかげで岐阜ダルクのことを知り、3月末から入所しています。最初の1ヶ月は、少し動いただけで身体中痛く、薬の離脱症状で精神的にも不安定になったり、夜一睡もできない日が続くなど、本当にしんどかったのですが、施設のリハビリプログラムを休まず真剣に取り組んでみた結果、心身共にもすごく回復しつつあることが今、実感できています。体重も入所して3ヶ月で15kg減量達成です。応援してくれている両親、そして共に回復への道を歩んでくれる仲間達に感謝です。今日一日も頑張ります。



ふくちゃん

現在46歳のアルコール依存症そして2児の母親のふくちゃんです。

私は、アルコール依存症が完治しない病気とは、全く知らずに過ごしていました。私がアルコールさえ飲まなければ周囲の人達に迷惑をかけなくていいとの思いがありましたが、それが出来ず、入退院を繰り返して8年が経ちました。そして今、たどり着いたのは岐阜ダルクでした。

私は、一般家庭に生まれ、何一つ不自由なく高校にも洋裁学校にも行かせてもらい、資格を取得しました。自動車免許も取得し、10代からやりたい放題の人生で、仕事を転々としていました。

シンナーに興味湧き、吸い始めてからは病みつきになりました。何年か吸い続け、幻覚を見るようになりました。一番の幻覚は、マンションの3階から落ちて大怪我をしてICUに数日間入る幻覚でした。実際に私は何度か大怪我をしてきました。シンナーとアルコールの両方使った時もありましたが、気づけばアルコールに依存していました。最初の頃はアルコールの量もほどほどでしたが、23歳を過ぎてからは歯止めがきかなくなりました。アルコールが止まらなくなり、病院で診察を受けるとアルコール依存だと言われました。その時私は、先生の言っている言葉が理解できないくらいに酔っぱらっていて、緊急入院をする事になりました。もう、家の事や子供の世話など全く出来ない状況になっていました。

今は、ダルクの仲間達が私の気持ちや過去の苦しみを理解してくれて、いつもそばにいてくれるので感謝しています。後は、今まで迷惑かけた人達との関係を取り戻していきたいです。アルコールは嫌いではないけれど、もうほろ酔い気分では飲みません。大量のお酒を飲み続けるのは辛かったです。アルコール依存症の病気というものは怖いのですよ。



## 仲間へのインタビュー

仲間たちに、つながるまでのこと、つながってからのことを聞きました。今回は3人の中間の答えを紹介します。なりたい姿に向かって、一歩ずつ進んでいます！

### 1 ダルクに来てどのくらい経ちますか？

A) 9ヶ月。

B) 7ヶ月。

C) 2ヶ月です。

### 2 これまでに、どんな薬を使ってきたんですか？

A) アルコール、精神安定剤、抗うつ薬、睡眠薬。

B) シナ、覚せい剤、大麻、LSD、MDMA、アルコール、睡眠薬。

C) マジックマッシュルーム、アルコール、マリファナ、覚せい剤、精神安定剤、睡眠薬、抗うつ薬。

### 3 その薬を使い始めたのはどうしてですか？

A) アルコールは好きで飲み、処方薬は精神科医の勧め。

B) 地元の先輩に勧められた。

C) 人間関係の悩みや、好奇心から。

### 4 どの位の期間薬を使ってきたんですか？薬を使ってきてどうなりましたか？

A) 30年位。連続飲酒により、最後は動けなくなりました。

B) 10年間。捕まった。

C) 16年間。人と会う為にも薬が必要になり、引き籠る事が増えた。基本的な生活が一人では送れなくなった。

### 5 ダルクに来たきっかけは何ですか？ダルクを知ったのは、いつどこで？

A) 精神病院に入院した事がきっかけで、退院時に人から勧められた。

B) 逮捕中、弁護士さんの差し入れた本でダルクを知った。ダルクへリハビリをしに行く前提で執行猶予で拘留所を出た。

C) 新聞・インターネット・テレビを観た両親に勧められた。

### 6 ダルクでは何をしていますか？

A) 12ステップのプログラム。

B) 人間関係を築く練習と、人見知りを克服するためにリハビリ中。

C) 日常生活の練習と、プログラムを通しての新しい生き方の実践。

### 7 ダルクに来て、自分はどう変わりましたか？いつ頃から変わり始めましたか？

A) 半年ぐらい経った頃から不安感や焦燥感が小さくなってきた。

B) 来てからお酒でリラプスしてしまい、そこから変わってきた。挨拶出来るようになって、協調性を発揮してきた。

C) 薬が無くても眠れるようになった。運動と食事管理で痩せた。歯磨きとお風呂の習慣化。

### 8 最近、ダルクで意識して取り組んでいることはありますか？それは何ですか？

A) ステップ4（人生の棚卸し）をやっている。疲れにくい体になるために運動に力を入れている。

B) ミーティングで一番に喋る事と、ごめんなさいを連発しないでありがとうと言う事を意識している。

C) 仲間から折り方を聞いて、一日何度も折っている。どんな事でもミーティングで正直に話すようにしている。

### 9 これからどんな風になっていきたいですか？

A) 落ち着いて前向きに生活して、子供たちに愛情を注いであげたい。

B) 今の言葉遣いを徐々に直して、色んな言葉を覚えたいです。問題があってもお酒や薬でごまかさず、解決方法を身に付けたい。

C) 社会貢献がしたい。結婚して子供を作り、幸せな家庭を築きたい。親孝行もしたい。

4月

- 12 各務原病院メッセージ
- 薬物電話相談日
- 13 ヨーガ 14 陶芸教室
- 15 薬物電話相談日
- 16 岐阜ルーテル教会 (イースター参加)
- 17 ダルク後援会会議
- 19 笠松刑務所薬物離脱指導
- 情状証人裁判出廷
- 20 レクリエーション (映画)
- 22 フラワーセラピー、薬物電話相談日
- 23 友愛キリスト教会にて活動紹介
- 岐阜清流マラソン参加
- 岐阜ダルク家族会
- 25 各務原病院ケア会議
- 28 JCCA 役員会 29 薬物電話相談日
- 30 一宮カトリック教会にて活動紹介
- 岐阜パプテスト教会にて活動紹介

5月

- 6 薬物電話相談日
- 7 日本キリスト教団各務原教会にて活動紹介
- 9 笠松刑務所薬物離脱指導
- 10 薬物電話相談日、各務原病院メッセージ
- 11 ヨーガ 13 薬物電話相談日
- 14 岐阜ダルクチャペルコンサート
- 15 ダルク後援会会議 20 薬物電話相談日
- 21 岡崎カトリック教会にて活動紹介
- 岐阜キリスト教会にて活動紹介
- インマヌエル岐阜キリスト教会にて活動紹介
- レクリエーション (カラオケ) 25 ヨーガ
- 26 陶芸教室、笠松刑務所運動会見学
- 27 フラワーセラピー
- 薬物電話相談日
- 28 可見福音教会にて活動紹介
- カトリック稲沢教会にて活動紹介
- 岐阜ダルク家族会
- 30 笠松刑務所薬物離脱指導

6月

- 3 薬物電話相談日
- 4 南名古屋キリスト教会にて活動紹介
- 一宮聖光教会にて活動紹介
- 8 ヨーガ 10 薬物電話相談日
- 11 岐阜ダルクミニフォーラム in 可児
- 14 各務原病院メッセージ
- 薬物電話相談日
- 17 薬物電話相談日
- 18 岐阜キリスト教会にて活動紹介
- 20 笠松刑務所薬物離脱指導
- 21 日本福祉大学講演
- 22 ヨーガ 23 陶芸教室
- 24 フラワーセラピー、薬物電話相談日
- 25 岐阜ダルク家族会
- 26 ダルク後援会会議
- 27 各務原病院ケア会議
- 29 岐阜ダルク理事会・総会

7月

- 1 薬物電話相談日
- 2 日本キリスト教団岐阜教会にて活動紹介
- レクリエーション (映画)
- 6 家族教室
- 7 カピタニオ高校講演
- 8 薬物電話相談日、フラワーセラピー
- 9 掛妻キリスト教会にて活動紹介
- 大垣ルーテル教会にて活動紹介
- 岐阜ダルク家族会
- 11 笠松刑務所薬物離脱指導
- 12 各務原病院メッセージ、薬物電話相談日
- 13 ヨーガ 15 薬物電話相談日
- 16 愛媛ダルク開設フォーラム参加
- アガベチャーチ土岐にて活動紹介
- 18 ニュースレター発送作業

6/21 日本福祉大学講演



●私は中卒で大学に行くことはできなかったけれど、大学生の皆様に向けて自分の体験談を話すことができて貴重な経験ができました。お弁当も、学生の方と先生とでいただいていたので楽しかったです。●高校も行ってない僕が大学の教室で二〇〇名の前で自分の話をしました。緊張しました。終わってから大学生3人と先生でお弁当を食った。いい経験がありとすごかったです。まさひろ。

6/11 岐阜ダルクミニフォーラム in 可児市

●岐阜県内において依存症者のメッセージを運ぶため様々な地域で開催しているミニフォーラム。今回で6回目となりました。



●舞台上に立つと会場には本当に大勢の人が来ている事が分かり、その中で自分の依存行為について話をする事は恥ずかしくてしかなかったけど、目の前にいる仲間が笑ってくれているのが目に入って安心して話せました。ウメちゃん

●フォーラム会場約150人の前で突然体験談を発表する事になり、大勢の中でしゃべるのは人生初めての経験。人前に入るまで心の中で、何を話そうかなと思ってドキドキでした。いざ、人前に出たら自分なりの体験談を話すことができました。ふくちゃん



●帰りに学生さんに野間灯台に寄る事を勧められて野間灯台に寄り道。ステップ(犬)と絆の鐘を鳴らして帰りました。ステップこれからもよろしくね。まさひろ。



天外メンタルクリニックの杉田先生



各務原病院のソーシャルワーカーの澤木様

●依存症の治療にあたって先生の体験を話していただきました。

●岐阜ダルクは、施設職員と入寮者が一丸となって真剣にプログラムに取り組んでいます。ねばり強く、プログラムに取り組んだ仲間が花が咲く様に良くなっていきます。



暑いだワン。皆がかわるがわる散歩に連れてってくれるのが楽しみだワン。

5/14 岐阜カトリック教会をお借りして岐阜ダルクチャペルコンサート開催



●今年もチャペルコンサートを開催することが出来ました。ソプラノやパイプオルガンの方がボランティアで演奏して下さいました。120名の方がお越し下さり、21万4632円もの活動資金が集まりました。本当にありがとうございました。

5/23 レクリエーション(カラオケ)



●レクリエーションは毎週300円コツコツ貯めて一番新しい仲間が何が出来たいか聞いて月に1回行います。5月のレクはカラオケでした。シラフで歌った事のない歌を歌う。新しい歌にチャレンジするのもプログラムの一環です。

アンケートでお寄せいただいた声

- ☆ 仲間の中に居る時の気分がどんだけ楽が分かった。(当事者)
- ☆ 薬物=麻薬・ドラッグという知識でしたが、処方薬も薬物依存に陥ると知りこわいなあと思いました。(一般)
- ☆ よかれと思ってる事が相手に不必要だったことに気付かされています。(一般)
- ☆ 薬物依存症は、家族の愛では回復は出来ないと分かり、ダルクの必要性をしっかりと認識しました。(更生保護女性の会)
- ☆ 聞いていて心が痛くなった、あったかくなったり、すごく心に響き、あっという間の時間でした。ハグしてもらったあたたかさ、おいしいクッキーとコーヒー、素敵なミサンガ...心に残りました。大事にします。今日の出会いに感謝して、私なりにダルクを応援していきたいです。(行政関係)
- ☆ 中学校、高校などで出前授業として、このような会を開催されると、心に響くのではないかと思います。(その他)
- ☆ 現実の厳しさの再発見という気持ちです。(保護司)
- ☆ 薬物・アルコールの問題が遠い問題でないと感じました。(市職員・BBS会員)
- ☆ 色々な話は、外側だけでは分かりませんが、やはり少しでも中に入る事で、知らなかった事が多く見つかりました。(一般)
- ☆ 杉田先生のお話、自分にも当てはまり、よかったです。(ギャンブル依存症者の家族)
- ☆ 家族のあり方を考えさせられました。(薬物依存症者の家族)
- ☆ 皆、とても正直に、オープンに話をしてみえて、自分自身はどうかと思って、考えてしまいました。(薬物依存症者の家族)

活動予定

7月

- 20~23 NA コンベンション (大阪) 参加
- 22 薬物電話相談日 23 岐阜ダルク家族会
- 25 笠松刑務所薬物離脱指導
- 27 ヨーガ 28 陶芸教室
- 29 NA 花火フェローシップ参加
- 30 木曾川キリスト教会にて活動紹介
- 聖イエス会岐阜教会にて活動紹介

8月

- 9 各務原病院メッセージ
- 10 ヨーガ 24 ヨーガ
- 25 陶芸教室
- 岐阜ダルク家族会
- 13,27
- 薬物電話相談日
- 5,9,12,19,26

9月

- 13 各務原病院メッセージ
- 岐阜ダルク家族会
- 10,24
- 薬物電話相談日
- 2,9,13,16,23

最近嬉しかったこと

岐阜ダルク後援会  
会長 斎藤幸二

今年2017年はマルチン・ルターの宗教改革から500年目の年です。ルーテル教会ではこの一年ルター関係の集まりが数多く持たれます。6月5日から7日まで「ルターセミナー」が三浦半島のホテルで開催され、私も家内と参加して久々にゆったりとした学びの時間を持つことができました。

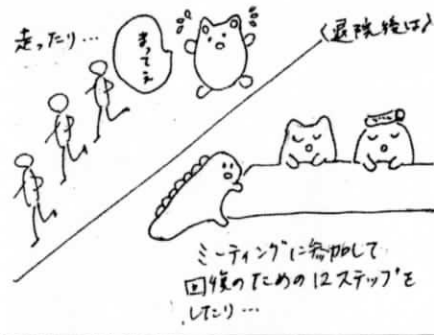
参加者の中に郷里の高校の同級生がいました。当時私は彼の家によく泊まりに行き、二人で「人生の意味」などについて語りあったものでした。私が教会に通い始めるとすぐに彼も続き、私の洗礼から半年遅れて彼も洗礼を受けました。お互いに20歳の時でした。それから48年、彼はずっと郷里の甲府の町で忠実に教会生活を続けており、今回久々に顔を合わせて親しく話すことができました。

また6月24日には静岡の教会で宗教改革の講演に招かれましたが、そこでも22年ぶりに懐かしい方々にお会いしました。長い年月を経ても変わらない気持ちで会うことのできる方々が自分には与えられているのだと思い、嬉しくなりました。

久々に会う方たちばかりでなく、今自分の身近なところにも誠実な多くの方たちがいます。こうした方々との時間を大切に、共に生きることができるとは本当に幸いなことだと感じています。



ルターセミナーを終えて



科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1 受取会費・人会金		
正会員受取会費	27,000	
人会金	0	27,000
2 受取寄付金		
後援会寄付金	0	
一般寄付金	2,103,490	
募金	692,000	2,795,490
3 受取助成金		
民間	180,000	180,000
4 事業収益		
① 薬物依存症者のリハビリテーション施設の設置運営	6,517,754	
② 薬物依存症者等の相談及び生活支援事業	6,300,906	
③ 薬物依存に関する教育、講演会、研修会、セミナー、イベント等の企画運営と啓発事業	983,274	
④ 薬物依存症者の福祉に資する広報事業	204,000	
⑤ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	7,667,339	21,673,273
5 その他収益		
受取利息	29	
雑収益	63,218	63,247
経常収益計		24,739,010
<b>II 経常費用</b>		
1 事業費		
(1) 人件費		
給与手当	7,527,134	
アルバイト料	917,600	
通勤費	122,120	
法定福利費	990,406	
人件費計	9,557,260	
(2) その他経費		
印刷製本費	212,560	
書籍購入	12,600	
活動費	38,642	
会議費	31,552	
旅費交通費	651,316	
車両費	71,232	
通信費	261,042	
消耗品費	524,128	
修繕費	22,540	
水道光熱費	717,880	
地代家賃	1,716,000	
生活費	5,890,906	
プログラム費	245,149	
保険料	341,564	
研修費	25,410	
器具什器費	210,639	
減価償却費	1,356,765	
諸会費	31,200	
雑費	51,664	
その他経費計	12,412,789	
事業費計		21,970,049
2 管理費		
(1) 人件費		
給与手当	844,866	
通勤費	32,680	
法定福利費	131,582	
人件費計	1,009,128	
(2) その他経費		
委託料	162,000	
会議費	306	
通信費	88,763	
消耗品費	14,631	
水道光熱費	91,394	
地代家賃	360,000	
保険料	1,433	
減価償却費	21,568	
雑費	2,712	
その他経費計	742,807	
管理費計		1,751,935
経常費用計		23,721,984
当期正味財産増加額		1,017,026
前期繰越正味財産額		8,143,343
次期繰越正味財産額		9,160,371

## ご支援・ご協力をいただき心から御礼申し上げます

### 献金者名(平成29年3月22日～6月16日)敬称略

吉田庄吾 カトリック岡崎教会の皆様 伊藤直美 村松宏章 光楽英生 藤井利也 田口大輔 木下容子 北谷雅春 前田功 齊藤栄子 菅沼登志子 勇昭代 伊佐地金嗣 鎌田憲子 中堀義広 中道美保子 弁護士法人出口法律事務所・弁護士・杉本隆 鈴木信行 弁護士法人神谷法律事務所・代表社員・神谷慎一 河合潔 川上美里 渡邊保幸 中西東峰 宗教法人・龍現寺 渡辺真帆 伊藤久美子 聖泉キリスト教会 永嶋恵美 堀尾佳広 福島春美 川原聖 各務原地区更生保護女性会会長・多和田弘子 神言会ハウス 緑バプテスト・キリスト教会 山県地区更生保護女性会代表・大橋俊子 豊田聖ベテロ聖パウロ教会 赤星誠一 枝木敬子 弁護士・山本亮 幼き聖マリア修道会 石川恭二 青井初恵 吉田加代子(更女) 大竹幸子 梅岡一哲 稲垣良重 蜂谷文雄 土井昭剛 上田千津子 ライザ 家田重春(中京大学) 板野友李子 カトリック江南教会 あげぼの会理事長・鶴岡武彦 カトリック岐阜教会 池田清・玲子 みのかも法律事務所 水野滋子 日比野良子 友愛キリスト教会の皆様 岐阜バプテスト教会の皆様 日本基督教団各務原教会の皆様 インマヌエル岐阜キリスト教会の皆様 可児福音教会の皆様 カトリック稲沢教会の皆様 南名古屋キリスト教会の皆様 一宮聖光教会の皆様 岐阜キリスト教会の皆様 早川昭雄 藤井利也 山戸潤 匿名者多数

### 献品者名(平成29年3月22日～6月16日)敬称略

(株)藤田商店 木下容子 原田美喜子 深津伸夫 岐阜カトリック教会 岐阜バプテスト教会 岐阜野宿生活者支援の会 いけちゃん 小西和子 岡本敏孝 ポポロ 福岡和男 匿名者多数

※お名前に記載につきましては注意を払っておりますが、万が一お名前のお誤字・脱字または記載漏れなどございましたら、誠に申し訳ありませんが、ダルクまでご連絡をいただきますようお願い申し上げます。  
※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名希望の方は、恐れいりますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い致します。

※昨年開設した Step house は、利用者が増えとても手狭になっています。大家さんのご理解をいただいて、格安で今のビルの中にもっと広い部屋を借りられることになり、できるだけ早く移転したいと思っています。移転のためには消防用の設備等を設置する必要があり、多額の資金が必要です。できるだけ多くの仲間が回復に向かえる環境を整えるため、皆様のご更なるご支援をどうかよろしく願います。ご献金下さいますようお願いいたします。

### 岐阜ダルク 郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

※Step house の新しい電話をひきました。TEL:058-201-3555

※バザーや地域のフリーマーケットへの参加を定期的に行っていきます。  
ご家庭で眠っている新品のタオルや家庭用品や衣類などがありましたら献品のご協力をお願い申し上げます。たくさんありましたらダルクから近郊の方でしたら取りに伺わせていただきますのでご連絡下さい。(058-201-3555)

編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク  
編集担当 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二 鈴木輝一郎  
〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX:058-251-6922  
Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp  
ホームページ: <http://gifu-darc.sakura.ne.jp/>  
ダルク日記『今日もぐるぐる』: <http://darcblog.sblo.jp/>  
2017年 岐阜ダルクニュースレター平成29年夏号 (No.61)  
定価 1部 200円  
編集責任者 遠山 香  
発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会  
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター

